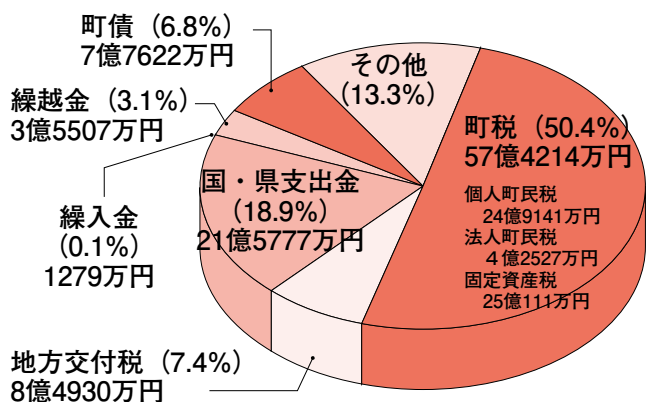


一般会計の状況

**歳入 114億110万円**

(前年比：1億1509万円減)

■歳入決算構成比



**平成29年度  
決算を認定**

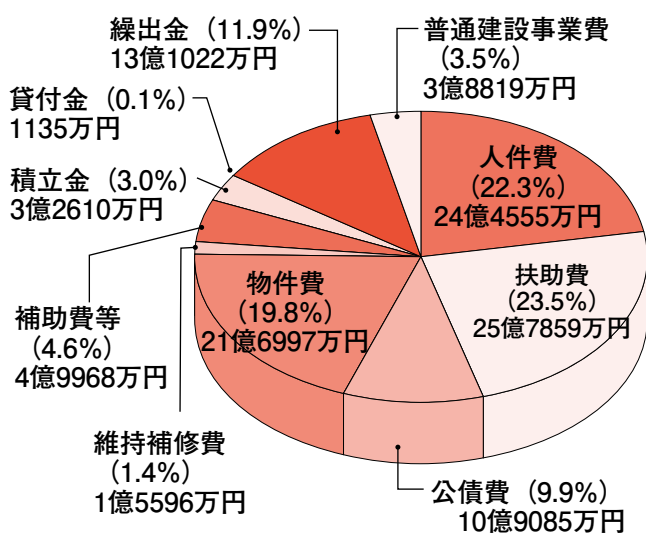
平成29年度決算は、議長、監査委員を除く議員で構成された決算特別委員会（審査日10月30日・31日）で審査し、12月定例会初日の本会議において採決し、全て認定しました。

**歳出 109億7,648万9千円**

(前年比：1億8462万9千円減)

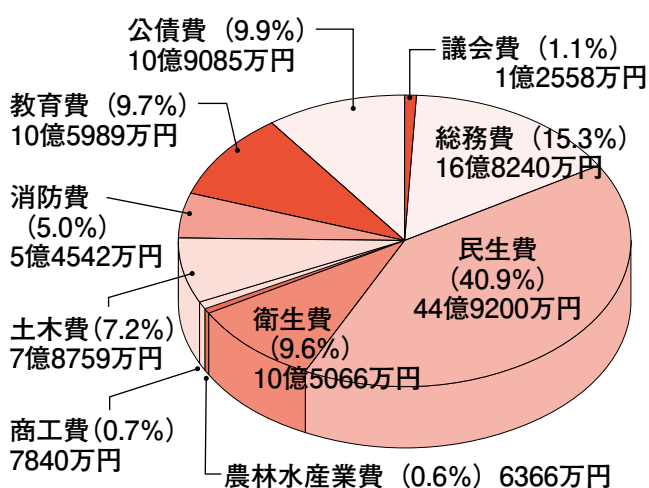
■性質別歳出 決算構成比

(町の経費を人件費、物件費などの性質ごとに分類)



■目的別歳出 決算構成比

(町の経費を行政目的によって分類)



用語説明

一般会計

福祉や教育、施設の維持管理など基本的な行財政の経費

地方交付税

どの市町村でも、一定の行政サービスが提供できるように、国から交付されるお金

国・県支出金

使い道が決められている国、県からの補助金

民生費

障がい者・高齢者・子どもへの支援、総合センター・保育所運営費他

衛生費

乳幼児・妊婦支援、予防接種、クリーンセンター運営・維持管理費、ごみ収集運搬費他

扶助費

生活困窮者、高齢者、児童、心身障がい者等に対して行っている様々な支援に要する経費

普通建設事業費

給食センター・記念公園整備、町道改修他

主な質疑

一般会計

歳入

**問** 固定資産税(償却資産)が増えた理由は。

**答** 企業の設備投資等に より約1500万円の増

**問** 償却資産の申告企業数が増えたのか。

**答** 未申告であったものに催告。約200件を受け、約420万円増額となった。

**問** 収納率向上のためにクレジットカードの活用

**答** スマホでの納税、キヤッシュカードでの口座振替を手がけてきた。クレジットカードも検討したが、手数料等の問題がある。検討し、新しい納税機会の拡大に取り組む

歳出

**問** 財政調整基金が2億9705万8千円。24

2%の増の理由。また、町民サービスが収縮されていないか。

**答** 歳入で町税が予算額より1億6000万円以上多かった。しつかりと予算は執行し、おおむね滞りなく実施。住民サービスの収縮はない。

**問** 地域ボランティア事業に対する補助の内容。

**答** 一番多いのは、紙おむつの支給事業。65歳以上の方に、無料で配布している。

**問** 消防。上尾市との広域化の進捗状況は。

**答** 進んでいない。県にも中に入ってもらい、協議を進め、なるべく早く話し合いの場を持ちたい。

国民健康保険特別会計

**問** 一人当たりの医療費が大きく伸びた理由は。

**答** 1人当たりの受診件数が増えていることではないかと考えている。

公共下水道事業特別会計

**問** 古い下水道管は、何年程度で、入れ替わるか。

**答** 耐用年数が50年。古いもので約28年経過。22年程度と考える。

区画整理事業特別会計

**問** 保留地の公売の進捗状況は。

**答** 金額ベースで95・06%。計画金額37億3527万円。処分額35億5075万円。

介護保険特別会計

**問** デイサービス、ホームヘルプサービスを緩和した総合事業の利用者数は。

**答** ヘルパーは、シルバー人材センターに委託しており、利用者は一人である。デイサービスは、「こむろん家」に委託しており、利用者一人である。

グラフの説明

〈財政調整基金〉

災害発生や予期せぬ税収減などの支出に備える町の「貯金」・7億691万4千円(前年度比:2億9,705万8千円)

〈地方債〉

町の借入金。現在高:115億9,109万5千円(前年度比-2億1,629万6千円)

町債:庁舎等維持管理事業債、町道整備事業債等の発行

〈将来負担比率〉

町の借入金など支出する予定額の将来的に負担する額の指標。51%(前年度比:6.1%減)

(平成28年度県内平均:20.1%。県内町村平均48.9%)

